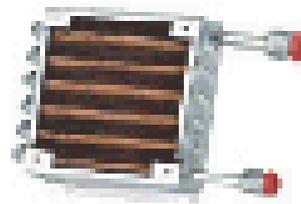


環境活動レポート

(2016年 10月～2017年 9月)



株式会社キーストンインターナショナル

目 次

1. 環境方針	p. 3
2. 会社概要	p. 4
環境活動組織	p. 5
(1) 実施体制	p. 5
(2) 役割分担表	p. 5
3. 環境目標・活動計画とその実績	p. 6
(1) 中期目標・計画とその実績	別紙
(2) 目標・計画の実現方法	p. 6
4. 取組結果の評価	p. 7
5. 関連法規類の順守状況	p. 7
6. 不適合	p. 7
7. 全般の評価と計画の見直し	p. 8
8. 別紙（１）環境目標・活動計画の目標と実績	p. 9
9. 別紙（２）2014年度 環境活動計画書	p. 10

1. 環境方針

基本理念

当社は、レーザー発振器及び周辺機器の輸出入販売をしております。

最近の地球環境問題の進展、企業をめぐる社会情勢の推移の中で、環境保全活動を進めます。特に、省資源及びグリーン調達を積極的に進めて参ります。

環境方針

- ・ 環境に関連した法律、法令、規則、業界基準を遵守し、環境保全及び環境マネジメントシステムの継続的な改善に努めます。
- ・ 地球温暖化防止のため、電力等エネルギーの節減を推進します。
- ・ 資源の有効活用を図り、排出物の削減と節水に努め、リサイクルを推進します。
- ・ グリーン購入（事務用品など）を推進します。
- ・ 取扱商品が環境配慮型製品であることを確認します。（RoHS, WEEE など）
- ・ すべての従業員に周知する。

2012年10月7日

株式会社キーストンインターナショナル

代表取締役 石田和久

2. 会社概要

商号：株式会社キーストンインターナショナル

住所：千葉県柏市逆井1-3-27 黒沢ビル3階

TEL:04-7175-8810 FAX:04-7175-5669

ホームページ：<http://www.keystone-intl.co.jp>

メールアドレス：key@keystone-intl.co.jp

創立：平成2年3月

資本金：10,000,000円

役員：代表取締役 石田和久

取締役 石田千香子

監査役 石戸喜二

環境管理責任者 大野 一己

事業内容：レーザー発振器及び周辺機器の輸出入販売

【販売代理店】

- Lytron 社 (米国)
- Intense 社 (米国)
- Snake Creek Lasers 社 (米国)
- Teledyne Judson Technologies 社 (米国)
- Piezomechanik 社 (独国)
- Cedrat Technologies 社 (仏国)
- Shafter+Kirchhoff 社 (独国)
- Carl Zeiss 社 (独国)
- LED Microsensor 社 (ロシア国)
- Nanoplus 社 (独国)
- National Aperture 社 (米国)
- Quater R&D 社 (米国)
- RPMC 社 (米国)
- Arroyo 社 (米国)
- Alpes Lasers 社 (スイス国)
- Union Optronics 社 (台湾)
- Wavespectrum 社 (中国)
- Shanghai Dream Technology 社 (中国)
- Noliac 社 (デンマーク国)
- Piezosystem jena 社 (独国)
- Alfa Photonics 社 (ラトビア国)
- Frankfurt 社 (独国)
- Meshtel 社 (米国)
- Axcel 社 (米国)
- Roithner Lasertechnik (オーストリア国)
- NEPTEC 社 (米国)

事業規模：主要製品の出荷額（平成26年9月期）：100百万円

従業員数：3人 非常勤役員：1名

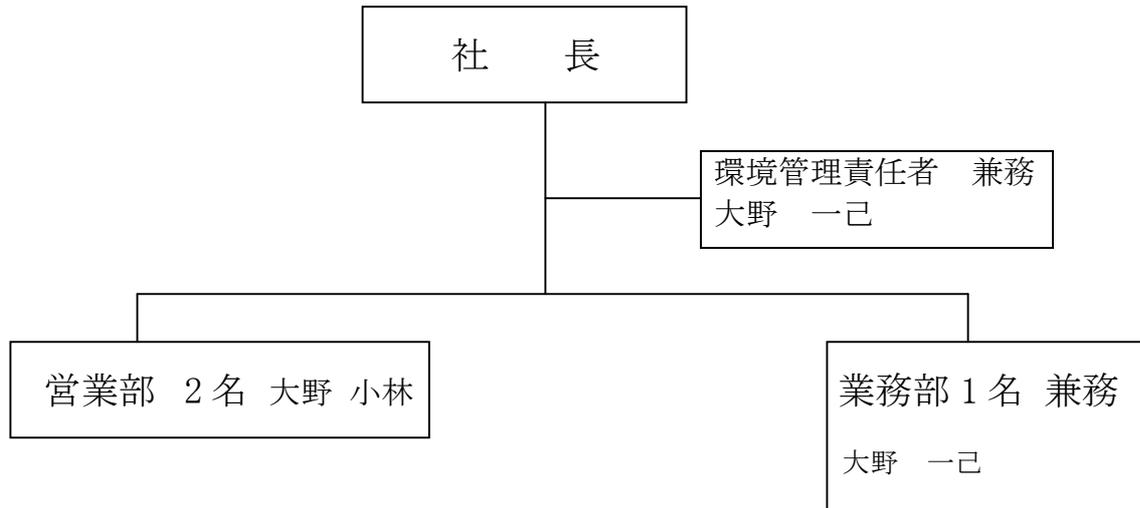
事業所の床面積：38 m²

3. 環境活動組織

(1) 実施体制

当社は、エコアクション21 環境経営システムを構築・運用し、環境への取組を実施するために効果的な実施体制を構築する。

実施体制においては、各自の役割、責任及び権限を定め、全員に周知する。



(2) 役割分担表

役割・責任・権限	
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を策定する ・E A 2 1 の実行に必要な資源（人・物・金）を用意する ・環境管理責任者も任命する ・E A 2 1 の全体的な取り組み状況を評価し、見直しに必要な指示を与える ・環境目標及び環境活動計画の承認 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者（大野）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システム要求事項を確立し、実施し、維持することを確実にする
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築・運用状況を確認する ・環境目標、活動計画の実施 ・環境に関する責任あるやり方で業務の実施 ・問題があった場合、環境管理責任者へ報告

3. 環境目標・計画とその実績

(1) 目標・計画とその実績 別紙 p 9

(2) 目標・活動計画の達成手段

① 電気使用量を削減し、CO₂ 排出量を削減する。

- ⇒ ・ エアコンの適正温度管理を実施する。定期的にフィルターの清掃を実施する。
- ・ 扇風機を導入し、エアコン使用時間の削減をする。
 - ・ 不在時消灯と休憩時間消灯の徹底管理を実施する。
 - ・ パソコンOA機器等を省エネモードに切り替え実施する。
 - ・ 蛍光灯をLED照明に、エアコンを省エネタイプに変更した。
 - ・ ブラインドの調整による日射の遮断・自然光の確保による照明効果の取り入れ実施する。
 - ・ 公共交通機関の利用、近いところは歩く。

② 節水

⇒ ・ 節水意識を維持する。

(事務所の賃貸契約が変わり、上水道、下水道は家賃に含まれる事になった。)

③ 廃棄物排出量を減らす。

⇒ ・ 両面印刷で紙の使用量を削減する。

- ・ 書類の電子化率を上げる (70%以上)
- ・ 裏紙を使用する。
- ・ ダンボール等の廃包装材を繰り返し再利用する。
- ・ 一般ゴミ、資源ゴミの分別管理による廃棄物削減及びリサイクル率の向上。

④ グリーン製品の購入を増やす。

⇒ ・ コピー紙は再生紙を使用する。

- ・ その他、環境ラベル認定品など、再生材料から作られた商品の優先的購入。

⑤ 提供する製品・サービスの環境配慮

- ⇒ ・ 環境配慮商品の基準、リストを作成し、仕入先に RoHS, WEEE 対応について確認をする。
- ・ 紙カタログを電子カタログに順次、移行する。

⑥ 取扱い商品が環境管理に役立つ用途に使用されています。

- ⇒ ・ ガス検出用、半導体レーザー、半導体レーザーシステム、LED、LEDシステム
(CO₂, SO_x, NO_x, CH₄ 等)

4. 環境活動計画取組結果の評価、目標との比較

目標	結果	実施項目	取組結果の評価
電気使用量の削減 及び 二酸化炭素の削減	-8%	無人スペースの照明消灯の徹底	頻繁にSWのON/OFF 実行
		エアコンの適正温度管理の実施 扇風機の導入	頻繁にSWのON/OFF 実行
		定期的なフィルターの清掃	前年度は年末に行った 毎月実施
		パソコンOA機器等の省エネモ ードに切り替え	複合機は省エネモードに切 り替えた
廃棄物の削減	-7%	コピー紙は再生紙を使用	再生紙を購入し実行 裏紙の使用
		一般ゴミ、資源の分別管理	資源ゴミはリサイクルへ
		ダンボール等の繰り返し再利	実行
		両面印刷で紙の使用量削減	実行
グリーン購入	2倍	再生紙などを購入。	年間では達成
環境配慮製品の 販売促進		仕入先に RoHS, WEEE 対応してい るか確認する。	10件チェックした結果全 部OK
環境管理用途 製品の販売		販売先の用途を確認する。 ガス検出用途他	

5. 関連法規類の順守状況

当社の事業に関する環境関連法令の違反行為はありません。
関係機関からの指摘、外部からの訴訟は創業以来ありません。
廃棄物処理法、RoHS、WEEE

6. 不適合

是正処置・予防処置を行うだけの問題点はありませんでした。

7. 代表者による全般の評価・見直しと次年度の行動計画

殆どの取組項目で、満足とは言えないまでもほぼ目標は達成できた。
当初の目標に沿って進む。来年度も引き続き継続する。

見直し項目	評価と指示
環境方針	引き続き方針に従って行動する。
環境目標	当初の目標に沿って進む。
環境目標	環境管理に使用する商品の販売を促進する
環境活動計画	漏れの無い様活動する。
教育計画	課題を出し、研修を実施する。
環境関連法規類	違反なし。

以上

別紙 (1)

環境目標・活動計画の目標と実績		二酸化炭素排出係数 0.378kgco2/kWh 二酸化炭素排出係数 0.530kgco2/kWh 2014年度より採用											
項目	単位	2008年度		2009年度		2010年度		2011年度		2012年度		2013年度	
		基準値	目標値	実績値									
電力	kWh	5118	4965	5074	4862	4464	4760	3894	4658	3926	4606	3934	
		対基準値	-3%	-1%	-5%	-13%	-7%	-24%	-9%	-23%	-10%	-23%	
		対年度目標値		2%		-8%		-18%		-16%		-15%	
		対前年実績値		-1%		-12%		-12%		0%		0%	
二酸化炭素	kg-CO2	1935	1877	1918	1838	1687	1800	1472	1761	1486	1749	1488	
		対基準値	-3%	-1%	-5%	-13%	-5%	-24%	-9%	-23%	-10%	-23%	
		対年度目標値		2%		-8%		-18%		-16%		-15%	
		対前年実績値		-1%		-12%		-12%		0%		0%	
廃棄物	kg	30	29	26	27	25	26	25	24	24	24	24	
		対基準値	-5%	-13%	-10%	-17%	-15%	-18%	-20%	-20%	-20%	-20%	
		対年度目標値		-10%		-4%		-4%		-4%		-4%	
		対前年実績値		-13%		-4%		0%		0%		0%	
水	m3	2	2	2	2	2	家賃に含まれるようになった		家賃に含まれるようになった		家賃に含まれるようになった		
		対基準値	0%	0%	0%	0%							
		対年度目標値	0%	0%	0%	0%							
		対前年実績値	0%	0%	0%	0%							
グリーン購入	品目数	2	5	16	8	16	10	15	12	17	14	14	
		対基準値	2.5倍	8倍	4倍	8倍	5倍	8.5倍	6倍	8.5倍	7倍	8.5倍	
		対年度目標値		3倍		2倍		1.5倍		1.4倍		1.2倍	
		対前年実績値		8倍		1倍		1倍		1倍		1倍	
環境配慮型商品・サービス	品目数								5	10	10	10	
		対基準値								10倍		1倍	
		対年度目標値										2倍	
		対前年実績値											
項目	単位	2014年度		2015年度		2016年度		2017年度					
		基準値	目標値	実績値									
電力	kWh	5118	4555	3383	4508	2996	4508	3083					
		対基準値	-11%	-33%	-12%	-41%	-12%	-40%					
		対年度目標値		-25%		-33%		-32%					
		対前年実績値		-15%		-11%		3%					
二酸化炭素	kg-CO2	1935	1722	1794	1703	1601	1703	1645					
		対基準値	-11%	-7%	-12%	-17%	-12%	-15%					
		対年度目標値		-26%		-19%		-3%					
		対前年実績値		20%		-11%		3%					
廃棄物	kg	30	24	24	24	24	24	24					
		対基準値	-20%	-20%	-20%	-20%	-20%	-20%					
		対年度目標値		-4%		-4%		-4%					
		対前年実績値		0%		0%		0%					
水	m3	2	家賃に含まれるようになった		家賃に含まれるようになった		家賃に含まれるようになった						
		対基準値											
		対年度目標値											
		対前年実績値											
グリーン購入	品目数	2	14	14	14	14	14	14					
		対基準値	7.5倍	8.5倍	8倍	8.5倍	8倍	8.5倍					
		対年度目標値		1.2倍		1.2倍		1.2倍					
		対前年実績値		1倍		1倍		1倍					
環境配慮型商品・サービス	品目数		10	10	10	10	10	10					
		対基準値	10倍		12倍	10倍	15倍						
		対年度目標値		1倍		1倍		1倍					
		対前年実績値		2倍		2倍		2倍					

別紙 (2)

2016年度 環境活動計画書		0.53	完了確認日	2017年10月2日	二酸化炭素排出係数 0.530kgco2/kWh(2014年度より採用)	承認	作成																		
			作成日	2017年10月2日		大野	大野																		
方針	目標	達成手段	責任者	スケジュール												達成状況/進捗率 (実施責任者)	評価/指示 (環境管理責任者/社長)								
				10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月										
二酸化炭素削減	電力削減 基準年度(2008)実績 5118kWh 2016年度目標 4504kWh (基準年度比削減率 13%)	休館時は作業機を消灯する 休館室、トイレは退出時に必ず消灯する エアコンの稼働時間は冬期は20度、夏期は24度にする。 夏期、休憩室は扇風機をエアコンと併用する。	大野	基準年 kWh	340	302	340	285	444	436	357	287	516	573	570	641	12月								
				(累計)	340	642	982	1267	1711	2068	2425	2882	3355	3827	4300	4773			5246	3月					
				目標 (月別)	307	296	296	251	391	364	214	293	494	506	509	506			506			6月	無人スペースの照明消灯の徹底 エアコンの適正温度管理、扇風機の併用を促す		
				(累計)	307	603	899	1150	1541	1905	2119	2412	2906	3412	3921	4427			4933					8月	無人スペースの照明消灯の徹底 エアコンの適正温度管理、扇風機の併用を促す
				実績 (月別)	232	212	233	239	358	275	250	169	311	382	381	398			398						
(累計)	232	444	677	916	1274	1549	1819	2018	2329	2711	3093	3491	3889	12月	LED照明に必要最低電圧使用量削減 LED照明に必要最低電圧使用量削減 LED照明に必要最低電圧使用量削減										
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
二酸化炭素削減(合計)	2016年度目標 2350 kg-CO2 (基準年度比削減率 13%)	上記手段による(化石燃料は使っていない)	大野	基準年 kWh	185	185	185	151	235	231	189	152	274			304	300	341	12月						
				(累計)	185	370	555	706	941	1172	1324	1476	1750			2054	2354	2654			2995	3月			
				目標 (月別)	163	141	162	131	204	197	134	241	247			270	270	270			270			6月	
				(累計)	163	304	466	597	801	998	1132	1373	1620	1890	2160	2430	2700	8月							
				実績 (月別)	224	214	224	178	183	146	249	28	139	149	209	199	199								
(累計)	224	438	662	840	1023	1169	1315	1344	1483	1632	1841	2040	2239	12月											
評価	○	○	○	×	△	○	○	○	○	○	○	○	○												
廃棄物削減	基準年度(2008)実績 30kg 2016年度目標 24kg (基準年度比削減率 20%)	一般ゴミ資源の分別管理による廃棄物削減 リサイクルの向上 ダンボール等を整理し再利用する。 面取印刷で紙の使用量を削減する。 書類の電子化率を上げる(70%以上)	大野	基準年 kg	2	3	2	2	3	2	2	3	3			3	3		3	12月					
				(累計)	2	5	7	9	12	14	16	19	22			25	28	31	34		3月				
				目標 (月別)	2	2	2	2	2	2	2	2	2			2	2	2	2					6月	一般ゴミ、資源の分別管理 ダンボール等の繰り返し利用 一般ゴミ、資源の分別管理 ダンボール等の繰り返し利用
				(累計)	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	8月	資源ごみはリサイクルへ ダンボール等の繰り返し利用						
				実績 (月別)	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2								
(累計)	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	12月											
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
水使用量削減	基準年度(2008)実績 2m3 2016年度目標 なし	(客室に含まれて測定不可) 節水意識の維持	大野	基準年 m3	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180			0.180	0.200			0.200	12月				
				(累計)	0.180	0.360	0.540	0.720	0.900	1.080	1.260	1.440	1.620			1.800	1.980	2.160	2.340	3月					
				目標 (月別)	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180			0.180	0.180	0.180	0.180					6月	4月から、水道料金も家賃に含まれる事になり、計測不可となった。
				(累計)	0.180	0.360	0.540	0.720	0.900	1.080	1.260	1.440	1.620	1.800	1.980	2.160	8月	4月から、水道料金も家賃に含まれる事になり、計測不可となった。							
				実績 (月別)	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180	0.180			0.180						
(累計)	0.180	0.360	0.540	0.720	0.900	1.080	1.260	1.440	1.620	1.800	1.980	2.160	12月												
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○										
グリーン購入	基準年度(2008)実績 2品目 2016年度目標 14品目 (基準年度比増加率 7.0倍)	コピー紙等を再生紙又は未利用繊維への転換。	大野	基準年 品目	0	0	0	0	0	0	0	1			0	1			0	0	12月				
				(累計)	0	0	0	0	0	0	0	1			1	1	1	1	1	3月					
				目標 (月別)	1	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	1	1					6月	DGE-用品は再生紙を使用 LED照明の購入
				(累計)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	8月	再生紙を購入し実行 LED照明を購入し実行						
				実績 (月別)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1								
(累計)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	12月											
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
環境配慮製品の販売促進	数値目標を設けず、5点法で採点する	取り扱い商品が環境配慮型製品であることを確認。 (RoHS、WEEE、グリーン規制)	大野	基準年	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			0	12月				
				(累計)	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	3月			RoHS、WEEE以外新しい要求があるか常に注意する。 グリーン規制 REACH 規制		
				目標 (月別)	1	1	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	1					6月	RoHS、WEEE以外新しい要求があるか常に注意する。 グリーン規制 REACH 規制
				(累計)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	8月	RoHS、WEEE以外新しい要求があるか常に注意する。 グリーン規制 REACH 規制						
				実績 (月別)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1								
(累計)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	12月											
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												
環境配慮製品の販売促進	数値目標を設けず、5点法で採点する	取り扱い商品が環境配慮型製品であることを確認。 (RoHS、WEEE、グリーン規制)	大野	基準年	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0			0	12月				
				(累計)	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0	0	0	0	3月					
				目標 (月別)	1	1	1	1	1	1	1	1	1			1	1	1	1					6月	
				(累計)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	8月							
				実績 (月別)	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1								
(累計)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	12月											
評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○												

目標実行責任者は3ヶ月毎に達成状況(未達の場合は是正策)を記入する